

祝賀

きばらん海総踊り・踊り連大募集

恒例の総踊りは8月5日(土)に開催!

各団体・企業、ユニークなグループ(友人・職場の同僚など)での参加を大募集します。

5名以上であればどなたでもOK。

踊りに自信のある方、夏の風情の浴衣での参加や、一風変わった面白いコスチューム・仮装での参加も大歓迎です。

問合せ・申込み

商工会議所青年部 TEL72-3341

きばらん海事務局 TEL72-1072 (午前10時30分～午後6時)

赤ふん隊・粹なお祭り娘大募集

きばらん海大漁みこしにおいて、「赤ふん隊」「粹なお祭り娘」を募集します。

見るだけではつまらない。お祭り囃子に無性に心が躍るそんなあなた!商工会議所青年部が繰り出す山車の前で、自慢の踊りを披露してみませんか。

問合せ 商工会議所青年部事務局 TEL72-3341

大漁みこし・街頭パレード参加団体を募集

さつま黒潮きばらん海(枕崎港まつり)の「大漁みこし・街頭パレード」は次の日程で開催されます。参加ご希望の方は、市役所水産商工課に備え付けの申込み用紙でお申し込みください。

【街頭パレード】

8月5日(土)午後3時～3時30分(予定)

【大漁みこし】

8月6日(日)午後2時～4時(予定)

申込先 水産商工課 TEL72-1111 内線462

募集締切 7月14日(金)

まつりのボランティアスタッフ募集

まつり実行委員会では、まつり当日、準備その他イベントに関する様々な業務をお手伝いいただけるボランティアを募集します。

問合せ きばらん海事務局 TEL72-1072

折口町58番地(午前10時30分～午後6時)

※日曜日はお休みです。

ポロシャツ・Tシャツ販売

まつり実行委員会では、今年も恒例のきばらん海ポロシャツ・Tシャツを販売しています。

問合せ きばらん海事務局 TEL72-1072

※Tシャツの色及びデザインは、「広報まくらざき4月号」22ページをご覧ください。

品名	色	サイズ	価格
ポロシャツ	エンジ	SS・S・M・L・LL・3L 「きばらん海」のかな文字入り	3,000円
Tシャツ	※	S・M・L・LL・3L・4L (子供用サイズ有り)	1,500円

特集：防災



5月12日、防災点検の様子

6月は土砂災害防止月間

一瞬のうちに家や田畠、人命まで飲み込んでしまう土砂災害。
土砂災害には前兆現象が見られることがあります。次のような現象に気がついたらすぐに避難しましょう。

① 土石流

・急に川の流れが濁り流木が混ざっている。
・雨が降り続いているのに川の水位が下がる。
・山鳴りがある。

■ 災害発生時の「前兆現象」



昨年9月の台風14号で起きた土砂崩れ
(桜山本町)

- ② 腐った土の臭いがする。
- ・かけ崩れ
- ・かけに割れ目が見える。
- ・かけから水が湧き出ている。
- ・かけから小石がバラバラと落ちてくる。
- ・かけから木の根が切れる等の音がする。

自主防災組織の結成を

自主防災組織の活動は、「手をこまねいて、誰かがやるのを待っているわけにはいかない。救出や救護、消火などを守る」という気持ちの集約組織的・合理的に準備されていきます。消防などの活動が始まらなければなりません。それには、個人よりも、組織的な効果的です。

■ 自主防災組織の現状

現在、本市の自主防災組織は、全自治公民館76のうち32

の公民館で結成されています。

自主防災組織は、住民が地域の防災活動を効果的に行うための組織です。全公民館で結成し、災害に備えましょう。

◎ 自主防災組織の問い合わせ
TEL72-1111内線214

桜馬場自主防災組織の防災訓練



日々のチェック

□ 雨どいや側溝の落ち葉やゴミ、土砂などを掃除し、流れを良くしておく。

□ 瓦のずれ割れ、ひび、トンネル屋根のめくれ、ゆるみなどを点検・整備しておくる。

□ 家の周囲は、いつも整理整頓しておく。(予備の電池

□ 停電に備えて、懐中電灯、ろうそく、携帯ラジオなどを用意しておくる。

□ 避難方法や避難場所への道順などを家族で決めておく。

□ 家の周りの地形などに気を配る。(かけ崩れなどの思わぬ災害に巻き込まれることを防止できます)

わが家の風水害対策

いざというときには!

○ ラジオ・テレビで気象状況を把握する。

○ 窓ガラスは、強風による飛来物などに備えて、外側から板でふさぐなど早めに補強しておくる。

○ ベランダの物干し竿や家の回りの植木などを飛ばされやすいものを片付ける。

○ 浸水のおそれがある場合には、家財道具などを2階や高いところへ移動する。

○ むやみに外出しない。

○ かけ地付近は、かけ崩れに十分注意する。

○ 危険を感じたら早めに避難する。

○ 非常持出品を準備するなど、避難の準備をする。

「災害は忘れた頃にやってくる」と言われていますが、生命と財産に大きな被害をもたらす災害は、忘れる間もなく毎年のように発生しています。日常的な感覚では想像もできないほど、自然の状態が急激に変化し、対応が間に合わないことが多いことも少なくありません。台風や大雨に備えて、油断せず、日々から家や周囲の点検をして、必要な個所の修理、補強をしておきましょう。

備えていますか?

特集：防災

市内の避難所

危ない! と思ったらすぐに避難

※ 避難所を確認してください

台風来襲や大雨など災害に備えます。近づく避難所を確認しておきましょう。また、防災行政無線からの「避難命令」は次の手順で行われます。避難命令(勧告)は該当地区の拡声子局から『吹鳴』7秒『休止』3秒繰り返し3回、音声放送

